



南保

3159







某  
響

命ヲ奉シテ英國ニ在留スル丁年アリ是ヲ以テ粗  
貿易ノ大勢実況ヲ目撃注視スル丁ヲ得テ稍々其

情況ヲ諸通スルノ後予常ニ顧ミ惟フ我カ本國ノ地形ノ  
如キハ四面海ヲ環シテ貿易運輸ノ便アリ而モ土地饒瘠  
ト謂フニ非ス物産匱乏ト謂フニ非ス民數塵稀ト謂フニ  
非ス然而ハ海外貿易ノ勢常ニ萎靡退縮シテ未タ奮迅振  
作スル能ハサル所以ノモノハ凡ソ方今我カ内國ノ事効  
未タ全ク就成セズ産殖ノ畱未タ全ク豊饒ナラス運搬漕  
輸ノ利未タ全ク開通セズ製工巧作ノ業未タ全ク修熟セ  
ズ資財資金ノ用未タ洽ク流融セサル等概テ皆テ我カ海

大  
正  
十  
一  
年  
四  
月



外貿易ノ勢ヲシテ隆盛ナラシムル能ハサルノ原由ナリ  
虽然此亦タ我カ商民ノ未タ海外貿易ノ運為操轉ニ於テ  
捷眼敏手其伎倆ヲ逞スルノ氣力ナク而シテ後ニ我カ港内  
ニ安居シテ一時ノ虚利ヲ為モスルヲ務メテ狡奸譎詐自  
喜フト虽此海外貿易ノ大勢実況ニ至ツテハ勝子トシテ  
一ツモ諳知スル所ナク坐ラニシテ唯タ彼ノ外商ノ制命  
ヲ受クルノミ是我カ今日未タ海外貿易ノ弊舊迅振作セ  
タル所以ノ痲疾也ト虽此亦タ二三ノ商民挺身卓起シテ  
能ク此ノ海外貿易ノ衰勢ヲ挽回シ得ヘキニ非サレハ先  
ツ宜シク官魁ケテ之カ首唱ヲ爲メ鼓舞力ニ依ルニ非

レハ竟ニ復タ此貿易ノ衰勢ヲ痊癒スルコアル能ハス因  
テ又タ竊ニ惟フニ官今マ其適任ノ吏員ヲ撰テ之ヲ我カ  
通商ニ緊要ナル外国港ニ派遣シ且ツ之ニ委スルニ彼我  
通商ノ景況ヲ審察シ我輸出スル所ノ物品ニ就キ彼ノ市  
場ニ於テ現時ノ実況將來ノ増減及ヒ其人童ニ適スルマ  
否ヲ考定シ又船客ノ航海貨物ノ運送等ニ関シ通路ノ難  
易運費ノ省略等ニ注意シ以テ懇々之ヲ我カ本國政府ニ  
報告セシメ而シテ官モ亦タ懇々之ヲ我カ國民ニ公告シ以  
テ我カ農工商民ヲシテ各自ニ其業之向ヲ所ヲ知ラシメ  
然ル後今我カ氣力ナキノ商民モ亦タ奮起スル所ロカ



ラントス而メ官竊ニ之カ勢カヲ戮セテ扶ク所口アラハ  
斷クニ我カ海外貿易ノ衰勢ヲ挽回スルヲ期セント某常  
ニ思念以コニアリト云氏未タ敢テ之ヲ言ニ衆セヨ令ヤ  
閣下ノ明亦タ業ニ已ニ以コニ見アリ竊ニ某語ルニ此事  
ヲ以テヒリ且ツ今我邦ノ英國ニ負スル所口ノ外債ヲ償  
スルニ年ニ我カ金貨若干ヲ彼ニ至サ、ルヲ得ス是至憂  
ノ事ナリ故ニ今直シクコレニ換フルニ我カ國產ヲ以テ  
スルハ則チ一ハ以テ我金貨ノ溢出ヲ防キ一ハ以テ我  
輸出入平均ノ度ヲ求シ大ニ我海外貿易ノ勢ヲ挽回振作  
ルノ一挙兩得ト称ス可キ良圖ヲ以テセリ某之ヲ承聞ス

ルニ及ヒ誠ニ歡喜踊躍ニ堪スシテ某豈ニ此良圖ヲ讚成  
セカルヲ得ンヤ而メ幸ニ某命スルニ其概計ヲ調査シテ  
以テ之ヲ閣下ノ高覽ニ捧メ可ヲ囑セラレ謹テ其概計ヲ  
表シ并テ鄙見叢条ヲ附ス唯々願クハ閣下其レ断乎ト之  
ヲ裁セラレシトヲ

茲ニ西曆一千八百七十三年英國管商事務局ニ於  
テ刊行セル統計表ニ依テ我カ國產ノ英國ニ輸入  
セル計數ト各外方ヨリ英國ニ輸入セル計數トヲ  
相比較シテ試ニ概計ノ目ヲ五ツルコト左ノ如シ

但シ此統計表ニ示セル輸出入ノ計數ハ西曆一千八百七十  
二年間ニ係ルモノト知ルヲ要ス



| 日本ヨリ英國工輸入ノ計數        |             | 各外方ヨリ英國ニ輸入ノ計數    |  |
|---------------------|-------------|------------------|--|
| 陶器                  | 二千四百六十六磅    | 二十三万七千四百六十七磅     |  |
| 銅 <small>羊製</small> | 五千八百〇〇磅     | 四百三十八万五千九百十九磅    |  |
| 生糸                  | 四千八百十七磅     | 八百四十三万四千〇九十二磅    |  |
| 木蠟                  | 二万九千〇三十〇磅   | 十五万八千八百三十〇磅      |  |
| 茶                   | 八千六百八十五磅    | 一千二百九十三万三千四百三十三磅 |  |
| 烟草                  | 六万六千六百五十四磅  | 一百廿六万三千八百八十二磅    |  |
| 米麦                  | 〇           | 二千九百七十三万七千七百三十六磅 |  |
| 石炭油                 | 〇           | 四十三万三千四百七十二磅     |  |
| 總計                  | 十七万七千四百五十七磅 | 二千六百十四万九千四百五十一磅  |  |

右ニ掲クル表面ノ計數ニ依テ之ヲ觀ル片ハ我カ國産ノ英國ニ輸入スルモノト各外方ヨリ英國ニ輸入スルモノトノ較量甚タ塵ニナル九牛ノ一毛ト謂フ可シ就中茶ノ如キハ万ト一トノ比較ニテ生糸ノ如キモ猶ホ千ト一トノ比較タリ是レ決シテ彼レ我國産ヲ要求スルヲ欲セサルニ由テ如ク塵クナルニ非ル也彼レヲシテ必ス我カ國産ヲ要求セントスルノ意欲ヲ誘動シ因テ其情況ニ乘シ以テ我カ輸出ノ量額ヲ倍増スヘキノ秘計ヲ施シ、レハ也故ニ今々我カ各年輸出ノ量額更ニ幾倍



ヲ増加スト雖氏彼ノ英國大衆ノ消費ニ充滿セシ  
ムルニ至ラサルハ勢ノ顯然ナルモノ也某曾テ在  
英中熟、彼ノ情況ヲ察知シ竊ニ我カ輸出ノ量額  
ヲシテ漸クニ倍増セシメント計ルモノ數百品ア  
リ今之ヲ左ニ摘記シテ旁ヲ其品種ノ色般彼ノ意  
欲ニ適合ス可キ等ノ秘情ヲ注出シテ以テ閣下ノ  
領了ニ供フ

米

近頃歐洲ニ於テ大ニ我カ日本米ノ良種タル聲譽  
ヲ得タルトハ稍々立人ノ識ル所トアリ是レ後ニ

其虚聲ノミニ非スシテ実況然ルモノアルナリ然  
氏遠ク将来ノ勢状ヲ測ルニ凡ソ我カ域内土地ノ  
積面ト生民ノ口數トヲ相々比算スルキハ後千終  
ニ米穀ヲ以テ我カ常久ノ輸出品ト為ス可ラサル  
ノ模様ヲ見ルニ是ル如シ仄カニ聞ク近來津田氏  
ナルモノ盛ニ媒助法ノ驗アルヲ唱フルニ現ニ收  
獲ノ量三倍ノ多ヲ得ヘシト若シ其驗効ヲシテ実  
ナラシメハ官宜シク速カニ各縣下ニ令シテ治ク  
其法ヲ施サシム可キ也然氏我カ今日ノ如キハ地  
カ未タ盡サ、ル所アリ若シ誠ニ能ク農耕ヲ勸奨



シ糞培ヲ施サハ今日收穫ノ定量ヨリモ幾何カ倍  
獲セサルモノ無カル可シ且ツ思フニ万令我國內  
産スル所ノ米量歉乏ナルニ非ス唯々内國運輸ノ  
便未タ通セサルヲ以テ偏滯鬱蓄其年ヲ得サルモ  
ノアリ是レ尤モ注目セサルヘカラス

我ク製産ハ米國ノ市場ニ飛テ其名聲ヲ得ルト虽  
氏惜ラクハ未タ其名聲ヲ大ニ歐洲各國ニ傳播セ  
シメサルヲ常年英國ニ輸入スル各方製産ノ茶額  
最モ多量ナルモノハ支那製ヲ以テ最大ト為ス然

茶

氏其製茶ノ品評ニ至ツテハ緬甸孟加拉製ヲ推シ  
稱セリトス而メ近年支那製ノ聲譽大ニ落剥セル  
景況ヲ見得タリ其原由ヲ尋ルニ支那商唯々互市  
ノ近利ヲ貪テ永遠ノ計ヲ思ハス製茶雜悪往々屢  
造擬製ノ奸アルヲ以テ遂ニ其聲譽ヲ失クニ及ヘ  
リ然レ支那製ノ聲譽ヲ失ルハ我ニ於テ不可緩ル  
ノ好時會ト謂フ可シ我々景況ニ乘シテ歐洲ノ氣  
俗意好ニ通スル製法ヲ以テ專ラ紅茶等ヲ製出シ  
誘シテ彼ノ意好ヲ釣レハ自然ニ我々茶名ヲシテ  
歐洲ニ傳播セシメ將來歐洲ノ需用ニ於テ絶ユ可



生糸

カラサルノ我カ一大輸出品ト爲ル可キヲ必セリ  
是レ尤モ其注意ヲ勵サ、ル可カラザルモノ也  
伊太利製ヲ以テ最第一トシ佛國南部ノ製等之レニ  
次ク支那日本製ヲ最下トスト臣氏支那製ハ日本  
製ニ比スレハ白色ナルヲ以テ我カ灰色ニ較レハ  
稍々勝レルモノトス故ニ今マ直シク伊太利製ニ  
倣ヒ我カ製法ヲ改良ニシ且ツ其寸尺量目等ヲシ  
テ彼カ使用ノ使ニ適應セシメハ其各聲復々揚騰  
ス可ヲ期セン

水蠟

我日本産水蠟ノ名アルヲ海外市場ニ於テ尤モ舊  
シ然氏未タ輸出ノ量額増加セサル所以ノモノハ  
我カ國內産スル所ノ量額未タ豊大ナラスシテ盛  
ニ之ヲ海外ニ輸出ス可キノ餘量アラサルナリ是  
レ今ヨリ直シク内國ニ於テ其産額ヲ督課シテ餘  
量アラシノハ米茶次クノ品類ニ至ラント必セリ

烟草

我カ日本産ノ烟草ハ英國市場ニ於稍々其聲譽ヲ  
得ルト臣氏其葉質薄瘦ニシテ土耳其格麻尼刺西印



度諸嶋ノ産ニ及ハズ故ニ今マ宜シク良種ヲ撰ビ  
採テ其培植糞養ヲ善クセハ更ニ一層ノ聲譽ヲ得  
ヘシ

### 陶器

我カ製出スル陶器ノ聲譽アルヤ歐洲ニ於テ既ニ  
喧々タリ然レ目今我カ輸出スル所口彼ノ称揚ス  
ル所口ハ唯タ奇玩贅品ノ羨ニシテ彼ノ家常不可  
欠供用ニ給スル器物等ニ非レハ徒ニ彼ニ於テ其  
聲譽アリト虽レ我ニ於テハ其実利ナシ故ニ今マ  
宜シク我カ陶工ヲシテ彼ノ日用不可欠ノ器物ヲ

模製セシメ務テ彼ノ意好ニ適セシメ而シテ其製  
出ノ本價ヲ低廉ナラシメハ其要求多ク益々遂ニ  
際涯ナキニ至ルヘシ想フニ今マ我カ國內工雇ノ  
所賃賃料甚下低ノ時ニ當リ大ニ其等ノ工雇ヲ募  
リ且ツ其使役ノ法ヲ正肃ナラシメテ數縣ナル陶  
工品ヲ製出セシム可キヲ務ムレハ之レニ過ルノ  
國利ナカルヘシ

### 漆器

其情況大抵陶器ト一般ナリ

### 醬油



近コロロハシク彼市場ニ出ルト雖モ赤々人知少ク  
シテ其聲譽ヲ全セス今更ニ一層ノ注意ヲ加ヘ且  
ツ之ニ推茸等ノ香氣ヲ加ヘ其聲法ヲ改良ニシル  
勉メテ人知ヲ普スルヲ要トス

絹織物

一ツハ日本デヤパニールスカルター幕トシ一ツハ日本デヤパニスシルク絹トシテ其名英國  
ニ裏ケトモ皆我真製ニ非ス歐洲諸國ノ擬製ナリ  
故ニ今彼ノ時好ヲ詳ニシ我製造ヲ便ニシ以テ其  
價ヲ廉ニシ之ヲ輸出セハ其増加知ル可キナリ

雜貨

扇 鐮 磨 磨 粉  
荳 蔴 芥

此等ノ雜貨ノ如キハ赤々遠カニ巨額ノ輸出ヲ期  
ス可ラスト虽氏亦タ務メテ彼ノ意好ニ適合スル  
ノ手段ヲ施サハ自カラ彼レノ求需ヲシテ多カラ  
ムルニ至ラン

石炭油

比年我カ國內ノ消費ニ供スル輸入品中ニ列スル  
一大品タリト虽氏近コロロ公私ノ着手ニヨリ其産  
出日ニ多キヲ加ヘ其産源ノ多キ赤々測ル可ラサ  
ルアリ而シテ海外ニ於テハ英國ニ輸入スル其油  
産ハ常ニ米國ヨリ之ヲ送入スト虽氏多年ヲ經ス



シテ我カ産ヲ以テ遂ニ米國ノ送入ヲ壓却セシム  
ヲ希望ス

右ニ摘記スル數名品ノ如キハ海外貿易ノ運為操  
轉ノ機巧ニ因テ必ス其輸出ノ量額ヲ増加セシメ  
得ヘキノ品目タリ某曾テ粗々彼レノ情況ヲ察知  
スル所アルヲ以テ其之ヲ運為操轉スル所以ノ手  
技心算等ニ至ツテハ稍々了解スル所ロアルカ如  
シト虽氏然氏其之ヲ現境ニ施スニ至ツテハ以彼  
相待千内外<sup>相</sup>應スルノ好都合ナカル可ラス若シ豫  
メ好都合ヲ定設セシムハ運為操轉其直キヲ失

フテ遂ニ其功ヲ奏スル能ハサルハ必然ノ事也然  
ラサレバ後ニ當任ノモノ拮据奔走ノ勞ヲ盡シテ  
東西市場ノ好時機ヲ發見シ速カニ賣買ノ廣告ヲ  
出ス等皆ナ其度ニ當ルト虽氏若シ本國ヨリ輸送  
スルモノ其時ヲ失ヒ或ハ格外高價ノ買上物品等  
輸送ラル、時ハ又々之ヲ如何ントモ為ス可カラ  
サルノ困情ニ陷ルナリ如以ノ例ハ我カ外國博  
覽會ノ出品等ニ就テ屢々歴ト觀ル所ロナリ故  
ニ之ヲ現境ニ施スニ至ツテハ豫メ以彼相待千内  
外相應スルノ好都合ヲ定設セサル可カラサル也



且ツ今マ我カ年々彼ニ償補スル所ロノ債額ヲ凡  
 ソ平均百七十万〇〇〇圓ト假算スルモ左ニ計出  
 スル所ノ米量ノミヲ以テ猶ホ彼ノ債額ヲ填補ス  
 ルニ餘リアル如シト雖モ然モ雇ニ一品一物ヲ以  
 テ交商ヲ海外ニ謀ルキハ常ニ彼ノ制絡ヲ受テ我  
 カ運為操轉ノ伎倆ヲ自由ニ働ク能ハサル也故ニ  
 今マ凡ソ各年我カ輸出シ得ヘキ品物ノ量額數各  
 品ヲ合セテ總計三百万〇〇〇圓ノ金額ニ及フ  
 可キヲ要ス而ノ右ニ掲出スル概計ノ目ハ漸次ニ  
 其ノ計額ヲ増加シテ歳々ノ増額ニ至ラシメシ

ヲ期スト雖モ今マ且ツ此總計若干額ヲ我カ海外  
 貿易ノ勢運ヲ察スル祖道ノ第初歩ト祝ヌ可シ

|     |        |       |                               |
|-----|--------|-------|-------------------------------|
| 米麦  | 或ハ麦ヲ除ク | 二百萬圓  | <small>此石散凡ソ千<br/>万石</small>  |
| 茶   |        | 七十七萬圓 | <small>此斤散凡ソ二<br/>百万斤</small> |
| 生糸  |        | 十萬圓   |                               |
| 煙草  |        | 五萬圓   |                               |
| 木蠟  |        | 五萬圓   |                               |
| 陶器  |        | 五萬圓   |                               |
| 雜貨  |        | 十萬圓   |                               |
| 石炭油 |        |       |                               |



總計

三百五万〇〇〇〇圓



